

平成25事業年度

決算報告書

(第10期)

自：平成25年4月 1日

至：平成26年3月31日

国立大学法人岡山大学

平成25年度決算報告書

国立大学法人岡山大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	16,706	17,600	894	(注1)
施設整備費補助金	5,501	4,555	△ 945	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	898	1,326	428	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	79	79	0	
自己収入	35,984	36,639	655	
授業料、入学料及び検定料収入	7,434	7,284	△ 149	
附属病院収入	28,057	28,725	668	(注4)
財産処分収入	—	0	0	
雑収入	493	629	136	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,057	4,771	714	(注6)
引当金取崩	400	379	△ 20	
長期借入金収入	382	324	△ 57	(注7)
貸付回収金	5	8	3	
目的積立金取崩	—	259	259	(注8)
計	64,012	65,944	1,932	
支出				
業務費	50,571	52,395	1,824	
教育研究経費	22,556	22,824	268	(注9)
診療経費	28,015	29,571	1,556	(注10)
施設整備費	5,962	5,033	△ 928	(注11)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	898	1,530	632	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,055	4,646	591	(注13)
貸付金	33	29	△ 3	
長期借入金償還金	2,493	2,504	11	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	64,012	66,140	2,128	
収入－支出	0	△ 196	△ 196	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、以下の要因により、予算額に比して決算額が894百万円多額となっています。
①復興関連事業分の予算措置により、予算額に比して決算額が198百万円多額となっています。②予算額に前年度からの繰越額のうち使用見込額46百万円を含んでいるが、使用額が742百万円であったため、予算額に比して決算額が696百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金収入については、事業の繰越等により、予算額に比して決算額が945百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国等からの補助金の増加により、予算額に比して決算額が428百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、手術件数の増加等により、予算額に比して決算額が668百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として保険料収入等により、予算額に比して決算額が136百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の増加等により、予算額に比して決算額が714百万円多額となっています。
- (注7) 長期借入金収入については、予算段階では予定していなかった借入不用額が生じたため、予算額に比して決算額が57百万円少額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった事業を計画したため、予算額に比して決算額が259百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、(注1)に示した繰越額の使用等により、予算額に比して268百万円多額になっています。
- (注10) 診療経費については、(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,556百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が928百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が632百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が591百万円多額となっています。

○ 損益計算書と決算報告書の集計区分の差異について

- (1) 損益計算書では、長期借入金収入は負債の増加であるため計上されていませんが、決算報告書では収入として計上されています。
- (2) 損益計算書では、人件費は役員人件費、教員人件費及び職員人件費に計上されていますが、決算報告書では、財源により業務費と産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (3) 損益計算書では、寄附金及び間接経費を財源とする費用は業務費の各区分に計上されていますが、決算報告書では、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (4) 損益計算書では、長期借入金償還金の元本の返済部分は負債の減少であるため計上されていませんが、決算報告書では支出として計上されています。また損益計算書では、長期借入金償還金の借入利息は財務費用の支払利息として計上されていますが、決算報告書では、長期借入金償還金に計上されています。